

婦人スポーツクラブ

バドミントンなど楽しむ



↑スポーツクラブでバドミントンを楽しんでいる婦人のみなさん(写真上)と、クラブ対抗戦で奮戦するクラブ員(同右)(市民体育館)



を楽しんでいます。

バドミントン派が圧倒的に多く、ママさんクラブ(四十九年結成、松本紀子代表、十八人)、ミセススポーツクラブ(五十年結成、砂川洋子代表、二十六人)、モーニングクラブ(五十二年結成、清水紀久代表、十人)、コスモスクラブ(五

市民体育館が六年前の四十九年秋から毎年一回開いている「ママさん健康教室」に参加した婦人たちが集まり、スポーツクラブを結成しています。現在、六クラブ。年齢は二十代から六十代まで幅広く、毎週一回、二時間、バドミントンやテニスを楽しんでいます。

ミセススポーツクラブの最年長の吉方温泉三丁目、山根園子さん(☎)は「運動不足とストレス解消のため始めた。新しい友達ができるのも楽しい」と話していました。これらスポーツクラブへの入会の問い合わせは、市民体育館(☎2415222)へ。



福沢 和子
(44)

健康への“特效薬”

運動不足とストレス解消に何かスポーツを、と思っていたところ、体育館でのママさん健康教室という絶好のチャンスに恵まれ、その

仲間たちとバドミントンクラブを結成してまる五年。私たちは、年齢の差(二十代～六十代)を越え、個々の体力に合った全身運動を続けています。ときには、和気あいあいと実戦を楽しみ、その中で技術も向上させてきました。激しい動きと機敏さの要求されるこのスポーツでも、無理をしなければ何歳になっても楽しめるようです。とにかく仲間たちはみな明るく活発で何よりも若々しい。同じ目標を持った人の輪の中で、心と体に刺激を受けながら心身の調和を取っているのです。陽気に笑って思いっきり体を動かして、いい汗を流すこの一時は、私たち家庭婦人にとって、心身を健全にする何よりの特效薬となっています。

お金で買えないこの健康づくりのために、まだまだいろいろなことをやりたい、と意欲に燃える毎日です。(卯垣三丁目、ミセススポーツクラブ会員)

私たちの健康づくり

— ⑪ —

6 団体と18人を表彰

市制91周年記念式典

十月一日、安男会長) 防災活動に積極的に

市制施行九十 取り組み、被害の軽減に努力

一周年記念式 典が福祉文化

会館で行われ、 岸田 廣實氏(七) 地方自治の

振興発展に尽力 (岩吉)

金田市長ら関 上根 政幸氏(七) 同(浜坂)

係者およそ百 【納税功労】

二十人が出席 吉田 廣幸氏(七) 納税組織の

して市の発展 充実と納期内完納に努力(田島)

を祝いました。 【保険年金功労】

式典で、市 吉方町二丁目町内会(康本隆夫

長は「ことし 代表) 国民年金事業の育成発展

は明治二十二 年に寄与

年十月一日に 【社会福祉功労】

市制を施行し 鳥取学生赤十字奉仕団(長谷川

以来、九十 検一委員長) 各種奉仕活動を続

一周年にあた け、地域社会の福祉向上に寄与

る。現在、人 渡部 重治氏(七) 永年にわた

口十二万九千 り保護司として更生保護に献身

を超える県都 (賀露町)

として、政治、 清末 芳子氏(七) 同(元町)

経済、文化、 村田 道雄氏(七) 永年にわた

産業など各般 り精神薄弱者の更生指導と社会福

祉施設の充実発展に寄与(足山)

【保健衛生功労】

故村江 潤夫氏(七) 永年にわ

たり津ノ井保育所の嘱託医として

保健衛生の管理指導に献身

(津ノ井)

【産業功労】

田中 軍治氏(七) 地域工業界

の育成指導と組織基盤の充実に努

力 (扇町)

【防災功労】

西吉成自治会自主防災会(森場

努力

堀内 繁義氏(五) 農業技術の

改良普及と農業経営の改善に努力

(中大路)

【社会教育功労】

竹本 三雪氏(七) 婦人団体の

育成指導に努め、婦人の地位向上

に寄与 (伏野)

安田 勤氏(三) 青年団活動

を通じて明るく活力ある地域社会

づくりに寄与 (南吉方一丁目)

美保地区子ども会育成協議会

(今井勝美会長) 地区子ども会

の連携充実に図り、児童の健全育

成に寄与

【教育功労】

小林 俊治氏(五) 学校教育の

発展と私学振興に寄与(古海)

山下 眞一氏(七) 同(横枕)

若木 禮氏(七) 鳥取大学教

授として農業に関する研究と人材

の育成に献身 (東町一丁目)

【徳行】

鳥取三洋電機労働組合立川分会

(石井勝正分会長) 永年にわた

り敬生寮へ金品の寄贈と慰問を続

ける 県立鳥取西工業高等学校生徒会

(山本法宏会長) 永年にわたり

敬生寮へもち米の寄贈ともちつき

奉仕を続ける

【自治功労】

中山淳太郎氏(七) 永年にわた

り公平委員として市政の振興に寄

与 (東町二丁目)

福田 好市氏(七) 永年にわた

り民生委員として市民の福祉向上

に寄与 (横原)

樋口 實氏(五) 永年にわた

り国民健康保険運営協議会委員と

して市政の振興に寄与 (大橋)

「豊かな老後」で市民集会 社会参加など話す



「豊かな老後」について意見
を述べる参加者(文化ホール)

ことし三回目の市民集会が十月
十一日、市文化ホールで開かれ、
市民約百人が老人と社会保障、扶
養、生きがい、社会参加など「豊
かな老後」について、予定時間を
延長して熱心に討論しました。

まず、映画「未来人口と高齢化

社会」を鑑賞した後、金田市長、

県社会福祉協議会の吉田正氏、県

経営者協会専務の鈴木実氏、鳥取

地方裁判所調停委員の若木道子氏

の四氏を講師に、また、鳥取大学

名誉教授の岩永実氏を司会者に討

論に移りました。

「現在の日本では世界で例がな

は「老後」とはどこを起点に言

新教育長に田村一三氏



田村教育長

代わり、新教育長に県教育研修センター所長、田村一三氏(美)が選任されました。就任は十月一日。任期は四年。

九月定例市議会の最終日(二十九日)に任期満了(九月三十日)に伴う教育長の選任が行われ、三期十二年間務めた濱本愿教育長に代わり、新教育長に県教育研修センター所長、田村一三氏(美)が選任されました。就任は十月一日。任期は四年。

うのか。何かをしたいという人を老人扱いして、やらせないのは間違っているのか。若者が共働きできるのは老人が子供の世話をしているからではないか」と老人差別の解消を訴えました。

また、市長は「経済面もさることながら、仕事そのものに生きがいを求めたい。ヨーロッパではホテルのウエーターなど老人が社会の第一線で生き生きと働いている。来年度に開設するシルバー人材センターでどんな仕事をあつせんできるか、現在、調査中である」と老人の意識変革を求めました。

会場からも「老人は敬老会に招かれたことよりも、地域活動に参加する方を喜ぶ」など、緊張をもたせていくことが「幸せ」ではないか。ホームヘルパーを有料(低額)でもいいから増員してほしい。▽教養講座に歴史など老人と若者が交流できる科目をふやしてほしい。▽入浴サービス車は手続きが面倒なので、頼んだらすぐ利用できるように改善してほしい——など

活発に意見、要望が出されました。これに対して市長は「老人の仕事、これをこれからのように確保するのか、ある期間をかけてコンセンサスをつくらなければならない。また、老人自らも生きがいを求める姿勢をもつことが大切である。ホームヘルパーの要望はもっともである。入浴サービス車は台数が少なく市民の要望に対応できていない。車を購入しても人が問題。ヘルパーの件とともにシルバー人材センターの仕事として考えてみたい」と答えました。

強い印象を残した人

人により認識も違うが、最近大平前総理の死ほど劇的な出来事はなかった。選挙の公示の日の街頭演説、それは異常なまでに迫力のあるものであったが、その日倒れ、ついに不帰の人となった。大平さんの死はわが国の政治の流れに大きな影響を与えた。選挙は自民党の圧勝をもたらした。また、後継鈴木さんの選出も極めてすんなりと絞られた。

総理としての評価は、在任中必ずしも高くなく、特にマスコミに厳しい批判を受けた。しかし、最近、大学教授などで高い見直し評価がなされているようだ。総理としての一年半、その間の批判を要約すると、東京サミットの成功を除き、権力への執着が強く、指導性が乏しく、

市政雑感



金田裕夫

インフレ対策に打つ手が弱く、また、米国の圧力に屈した等々であった。

大平さんは「待ちの政治」であるという。私もその点若干の物足らなさを感じた。しかし、よくかみ締めると限りなく味がでる。表面は地味だが思考は深い。大平政治哲学とでもいえよう。大平さんは、自分が指導者たなんてとんでもない、

という。国の将来を思い国民の意思を洞察し判断を固め、実行するだけだ。経済政策も市場原理をあくまで貫き、経済に過度の介入を避けた。このため野党、マスコミなど厳しく無策呼ばわりをされた。しかし、第二の石油ショックは摩擦なくほぼ解決した。

大平さんは米国の絆を一層強めた。

わが国の安全は全方位外交といったまやかしてなく、米国との枠組みしかないとの信念をもち、そのため国際社会での相応の負担もやむを得ないとした。この判断は米国の要請もさることながら、その圧力に屈したということではなく、彼の自主的判断であったと思う。また、解散より総辞職を選ぶべきだとおおかたのマスコミが指摘したが、一時たりと政権を野党に渡さないとした(総辞職なら大平さんが死んだのでサミットにも野党が出

席することになる)ことも間違いではなかったろう。

去年の四十日間抗争では、大平さんは世論に袋だたきにされたが、彼の心境はどうであったか。政権欲より使命感が強かったのではなかったか。あの粘り強さはかけがえのない貴いものであったろう。

大平さんは「上山在山、山幾層」の句を好んだという。山の向こうに山がある、山は幾重もある。人生もそうだ、との意である。大平さんの告別式に私も出席したが、森永日銀前総裁が友人代表とし「あなたのご一生、特に政界での経験は山また山でしたが、あなたは見事にそれを乗り越えてこられ、誠に苦勞様でした。しかし、天国にはもう山はないと思います。安らかに眠りください」と弔辞を結び、強い感銘を与えた。

(市長)

座談会

少年非行を防ぐ



去年5月のこどもまつりの工作コーナー。親子で本箱など作る

子供たちが、心身ともに健康でたくましく育ってほしいと思うのは、すべての親の願いです。ところが、こうした親の気持ちとは裏腹に、年々少年非行が増え続けています。そこで、非行防止について家庭において何らかの手がかりになればと、少年補導員など関係者のみなさんに、①非行の実態②非行に走る原因は何か③どうしたら非行を防ぐことができるか——の三つの視点で話し合ってもらいました。

“低年齢化”が特徴

シンナー吸引ふえる

実態

遠藤 現在の少年非行の実態は非常に深刻になっています。警察庁の五十四年の非行概要によれば、刑法犯の少年が千人当たりにも占める割合は一四・五人と、戦後最悪



行の低年齢化のほか、強盗、殺人などの凶悪犯や暴走族の不法行為、シンナーなどの吸引、教師への暴

力行為がそれぞれ増えていることがあげられています。

ここで特に注目したいのは、非行の原因となりやすい家出が、ここのデータのによると中、高校生の比率は去年に比べて減ってきているが、小学生は六割増と低年齢化しているわけです。家出や非行が低年齢化してきていることが深刻に受け止められてきているわけですね。

それでは、鳥取市での非行の実態はどうか、ということに入っていきたいと思います。まず、清水さんからお願ひします。

清水 ことし一月から八月までの少年非行概況からお話しします。県内の非行少年などの総補導人数は三千九百八十三人で去年同期より四百二十九人増えており(一二

・一三)、このうち女子は百十一人増加(二三・六三)しています。

このうち、刑法犯(四百三十九人)では窃盗の占める割合が大き、全体の八〇を占めており、ほとんど万引きです。中、高校生は三百五十九人で、全体の五九を占めています。住居別では、鳥取市が一番多く九十九人です。二年ほど前から東部に集中する傾向にあり、特に女子は二十七人で女子全体の六九を占めています。

不良行為(三千三百八十三人)では、喫煙、深夜徘徊、不良交友、不健全娯楽、家出、暴走行為、不純異性交遊の順で、中、高校生が全体の五〇・二を占めています。

また、シンナー、接着剤などの吸引者の検挙、補導人数は百三十人で去年同期(百人)より三〇増加しており、住居別では東部地区が百二十三人(うち女子十四人)で県内居住者の七四・一を占めています。入手先は友人というのが一番多く(三〇)、次いで自転車店、金物雑貨店、デパート、マーケットの順です。同世代に非行を阻止する力がないのと、シンナーの有毒性をよく知っていない人が多いのではないかと思います。

最後に家出ですが、発見保護人数は百九十五人で、うち女子が百十九人と六〇もあります。家出原因では、「遊びぐせがついて」「友達に誘われ」というのが目立ち、

・出席者・

(五十音順)

遠藤 盛男さん(三〇) 座長

鳥取大学教育学部助教授

大北 文子さん(五)

民生児童委員、少年補導員

桶谷 健二さん(三三)

県高等学校生徒指導連盟事務局

担当、岩美高教諭、少年補導員

(岩美町岩本)

柿坂 信古さん(四)

県中央児童相談所相談課長、少年補導員

清水百合子さん(四)

県警察本部防犯課婦人警察補導員(マモポリス)、少年補導員

田中 昭彦さん(五)

市小中学校生徒指導連盟事務局

担当、湖南中教諭、少年補導員

(岩倉)

松本 才さん(六)

少年補導員 (東町三丁目)

レビの普及や個室を持つというところで、家族の対話が少なくなっており、団らんがあまりない。特に共働き家庭では放任型が多く、小学生の相談を受けるケースは放任型家庭が非常に目につく。家事も手伝わせていないことが多く、生活体験が少ない。父親の座が低下していることも一因だし、地域の連帯感が薄れており、特に市街地では顕著ですね。このあたりにも原因がありますね。

遠藤 子供によくない情報があるらんしていますね。また、自動販売機で不良図書が簡単に手に入る、ということもありますし、地域社会でも考えていかなければならない問題が多い、と言えます。こういう点で、何かありませんか。



大北さん

対話が必要
幼児のころか

ですし、我慢強い子供に育てていかなければならない、と痛感しています。また、先程話の出した「あいさつ運動」は大事なことで、と思います。まず家庭から始めて、地区、地域へと展開していくとい

声」運動も必要だと思います。

清水 “子供王国”という感じがします。子供のために、という願いで物はみな与えられているようですが、実はそうではないので



清水さん

はないかと思
いますね。暴
走族の親の六
七〇代が、オ
ートバイは好

きだったようだが、暴走族に入っていたとは思わなかった、と言っています。子供の平素の行動、交遊関係、心の動きを小さいころからの触れ合いの中で知る、というのが欠けているのではないかと、性的問題が非常に乱れていると思います。エチケットやモラルの指導もせずに、情報化社会の中にほうり投げてしまっているのではないか。私どものころは、初潮があると、母親が赤飯を炊いて、一人前の体になったことを祝福してやる。同時に、自分の体を大事

にするとか、性のことを教えられたものです。男の子が女の子を深夜まで連れ回すなど、人の立場を考える、いたわりの心が欠けていますね。

耐える力が不足

遠藤 色々な意見が出ておりますが、中学、高校生から見れば、われわれ大人が反省しなければならぬ問題が多いわけですね。非行というのは、大人社会への不信、絶望感、悲しみなどが抵抗という形で表われている、という見方もできます。子供たちをこういう極限にまで追い込んでいるのは大人だ、ということが浮かび上がってくるわけです。この点、ご意見ありませんか。

柿坂 子供を持つ親に特に考えてほしいことなのですが、小学校の間に問題を起すのは、家庭に大いに問題があると言えます。小中学生のときはまじめでいい子

だったのが、高校に入ってから問題を起す、というのは、慢性的な育て方をしていたのではないかと、思います。そこで、親としては、次の四つのことを考えなければならぬのではないかと思います。

一つには、物だけではなく、心の満足感(愛の充足)を与えていたか、ということ。幼少時に愛情が欠けていた子供は何らかの問題を起しているようです。二つ目は、よい子に育てようと、支配的、干渉的になり、子供をキチッと管理している場合がありますね。



柿坂さん

起すことにな
りまして、大
きな

なります。三つ目は、欲求不満に耐える力を育てているか、どうかということ。欲しいもの、欲しいものにもならなくなる、という

ことになる。四つ目ですが、最近、自主性のない子供が多いですね。誘われるとついていく子供が多い。善悪の判断のつく育て方が必要で、みんなが振り返って考えてみる必要があると思います。

松本 非行に走った子供の場合、「知らなかった」と言う親が多い。友達の家で勉強するからと言っては外出して問題を起したケースもありましたが、こういう場合、親同志の交流が全くない。これも問題点の一つですね。

遠藤 これまでのご意見では、特に家庭、親子のあり方が強調されました。非行に走る原因をまとめてみると、大人がよかれと思つてやっていることが子供の心の琴線に触れていない、ということがあ

大切な“早期発見” 目的意識もたせよう

防 止

遠藤 最後に、どうしたら非行を防止できるかについてご意見を聞かせてください。
柿坂 非行を早期に発見するところが大切ですね。そのためには、



ちにつみ取ってしまうことが肝心です。子供のどういう言動が非行につながるのか、非行への黄信号のいくつかをお話しします。万引きの場合、初めに家の金品を持ち出す。態度、髪型が変わってくる。言葉遣いが荒々しくなる。気分がムラがあり、ソワソワする。ウソが多くなってくる。家の者と顔を合わせるのを避けるようにす

して何か食べている。以上、主なものをあげました。

家庭の問題では、一番目には、お互いに尊重し合ってやっているか、ということがあげられます。ある中学校の例ですが、抜群に計画性のある生徒がいたので、どういうしつけをされているのか聞いてみたら、小学五年生ぐらいのときから、何か買ってほしいときには、計画書を出させていたようです。小さいときからの積み重ねられたしつけに起因していたわけですが、子供にきちんと要求を出させ、正当なものは聞き入れる姿勢を親が持っていた。そして、本人の要求を軸にして話し合いの場を持って、心配ごと、願いごとを親の立場からも、子供の立場からも話し合っていたそうです。

二番目は、勉強の出来、不出来で格付けせずに、もう少し待つ心が必要ではないかと思えます。本人の話を聞いてやって、できるだけほめる姿勢を持つてほしい。これが、自主性を育てることになるし、非行防止にも結びつくのではないかと思えます。

三番目は、家庭にきまり、正しさを作ってほしい、ということ。寝る時間がみんなバラバラ、というようなりズムが崩れているような家庭に問題を起こす子供が多いようです。家事でもみんなが分担し合ってやることも大切です。

四番目に、落ちこぼれ、暴走族

の子供たちには、社会のはみ出し者だという考え方が背景にありま

す。こういう意識を持たせるのが問題ですね。個人個人の特長を伸ばしていく必要があると思えます。

桶谷 高校の場合、非行に走る生徒は、六〇％が成績、進路、将来について問題を抱えていますね。これがすべてに起因しているのだと思えます。喫煙、単車遊びなんかは小さい現象だと思います。一事例ですが、「単車ばかり乗り回



桶谷さん

して」と注意すると、「親は顔を見れば、勉強せい、勉強せいばかり

言う。何をやってたらいいかわからないのに」と話していました。具体的な思索がないわけですね。この生徒には、こういう方向に進みたいならば、この科目が必要だ。今はこういう学力だから、こういう勉強をしなさい、と話し、一緒に考えました。そうすると、単車に乗らないようになりました。結局、目的意識がないから、ヒマな

局、目的意識がないから、ヒマな生も、その子がどういう生き方に向いているのかを探せば、ほとんどの不良化は防げるのではないか、という感じがします。目的意識を持たせる、ということですね。

田中 非行に走る生徒はクラブ

活動をしていない、ことがあげられますね。一つの例ですが、成績はあまりよくないが、駅伝に打ち込んで選手で活躍した生徒もいます。もう一つの例ですが、家の仕事の手伝いをさせている生徒は、学校でも掃除などの態度、姿勢がいいですね。家事を家族で分担してやる、ということも大切なことです。

地域で見守ろう

大北 日本独特な家族制度が崩

壊しつつありますので、これを見直して日本独特のよい習慣を取り入れて教育する必要があると思えます。私たちの婦人民生児童委員でも、PTAと連携して青少年の健全育成のための住民運動を展開していくことを考えています。また、酒の自動販売機も午後十一時以後は電源を切ってもらうよう、業者へ依頼しました。私の地区(醇風)では五カ所のうち二カ所しか協力してもらえませんでした。趣旨を理解して協力してほしいものだと思えます。



松本さん

松本 ポル

ノ雑誌自動販売機のことですが、去年の夏、末恒地区

の婦人会が中心になって、白兎、伏野にあった自販機を取り除かせたことがあります。地域の意思統

一がなされた結果だと思えますね。シャミネ鳥取でも、夏休み前は各店バラバラだった警備体制を全店一本にして取り組んだ結果、同店舗内での不良行為がなくなった、ということもありました。また、高校生などの喫煙をできるだけ防ぐために、飲食店では灰皿を置かない、求めに応じて出す、というようにすればいいのではないのでしょうか。

清水 ことしの聖さんの祭りの

日でしたが、中学生三人が万引きをした、というのがありました。

小学生のころからやっていたということでしたが、適切な指導を受けないまま、今日まで来たということ。三人のうち一人は万引きしてはなかったので理由を聞くと、「ここはボクの行きつけの所ではない」と言っていましたね。

万引きは小さいときからかなりあるようなので、これを防止するだけでもかなり非行防止につながるのではないのでしょうか。小さい子供の小さい問題として軽視される風潮があるように思います。

それに、いわゆるたまり場が分散する傾向にありますので、地域で子供を見守る必要があります。

有害広告物なども街にはらんしてあります。これを見たから、直接、非行にはつながらないでしょうが、無意識のうちに浸透していくのではないのでしょうか。「人の子もわ

が子」という気持ちになってもら

って、市民みんなで見守ってほし

いと思えますね。

遠藤 私も一言、申し上げたいと思えます。家庭での生活の中で、つまずきの経験が非常に少ないように思います。自分でできることは自分でする、という習慣が非常に少ない。この習慣ができていれば、色々なつまずきが出てくると思うのです。壁に突き当たり、ざ

折感を味わうということになってくるのです。この習慣ができてくる家庭では、色々な目的意識も出てくるし、物事に集中する心も養われていくと思えます。そういう意味では、家庭の中ではあまりに過保護だと言えます。過保護というのは、子供ができることを親がしてしまおう、という感じを持ちます。こういう状況では自主性が出てこないと思えます。そして、先程のお話にありましたように、子供にヒマができてしまふんですね。次に、大人が非行から立ち直った子供をどういう目で見るか、ということですが、更生した子供に對しても、「あの子は中学生時代グレていた」とか「シンナーを吸っていた子供だ」とか、過去にこだわりの過ぎる見方を改めるべきではなからうか。過去にそういうことがあった子供でも温かい目で見る姿勢を持つ必要があると思えます。

(おわり)

シルバー人材センター(仮称)

設立は
来年夏
高齢者の技能生かす

市は、現在、シルバー人材センター(仮称)をつくるための準備を進めています。これは、高齢者のみなさんの豊かな経験や技能、知識を生かせるよう、働く機会をつくり、社会参加をしてもらい、健康増進と生きがいを高めてもらうための新しい試みで、来年七月ごろに発足させる計画です。

人材センターでは、健康でおおむね六十歳以上の人に会員になつてもらい、高齢者にふさわしい仕事を請負い、それぞれの会員にかつた仕事をしてもらい、報酬として配分金を支払う、という仕組みです。自分の経験や能力、知識を生かして体力に応じた仕事をし、生きがいを見いだし、小遣い

程度の収入を得たいと考えているみなさんや、地域社会の発展に貢献したいと考えているみなさんが会員になることができます。

主な仕事としては、次のようなものが考えられ、会員は自分の住んでいる地域や希望する職種ごとに班をつくったり、お互いに助け合いながら、各会員が希望する時間や日数に従って仕事をする、ということになります。

▽屋外の軽易な作業▽庭の清掃、除草、植木や盆栽の手入れ、芝生の手入れ、物置の整理など▽筆記、毛筆、筆耕▽封筒やはがきのあて

名書き、証書の毛筆、原紙書きなど▽簡単な大工仕事や修理、修繕▽集金、得意先回り、人との折衝▽室内での手先の仕事▽器具の簡単な組み立て、造花づくり、のりつけ、ラベル張りなど▽一般事務や経理事務▽書類整理、伝票整理、集計事務、調査事務など▽留守番、子守、家事補助。

人材センター設立のため、現在、従業員三十人以上の事業所三百社余りで高齢者にふさわしい仕事はどんなものがあるか、などの調査を進めています。問い合わせは、厚生課管理係へ。

の程度に応じて指導、特に体を動かすことは脳を刺激することになるので、砂遊び、ブロック積みなどを積極的に取り入れていきます。

城北保育所では、三人とも同じ年中組(二十九人)で、担当の保育は半年余りの生活ぶりを「親子とも大変明るくなった。初めは集団の中に近付かなかったが、友達を意識できるようになって、自分から中に入れるようになった。偏

食が強かったが、段々よくなってきた。運動遊びをよくするようになった」と話していました。また、一般の児童にも、「いたわりの心、助け合う心が育ちつつある」ということで、好ましい成果も出ています。

四、五月の二カ月間、精神薄弱児通園施設の若草学園で集団生活への適応力を養って入所したある児童の保育日誌には、次のような変化が記録されています。

(六月) わがままが目立つ。気に入らないと大声で泣く(七月) 行事に進んで参加する。動きがだんだん活発になる(八月) 他の障

害児Aのことが気になる(九月) 何をするのにAと保育を誘うようになる(十月) 給食のお代わりをするときは、全部食べてからするようになり、いつも「ありがとう」は忘れない。

ある障害児の母親は「表情が豊かになり、動きが活発になった。改めて一般の児童の刺激がいかに大切かということを痛感している」と話していました。

青少年育成基金を創設

親子とも明るく

今春から
制度

この四月から心身障害児を一般の児童と一緒に保育する「障害児保育指定保育所制度」を新しく設けてから半年余りを経過、「友達を意識できました。大変明るくなってきた」など、同制度の成果も徐々に表われてきているようです。

ことしの指定保育所はわかば、城北、美保の三種事業などの財源確保と市民の認識を深めるためのもので、鳥取久

青少年の健全育成を進めよう、と十月一日、新しく市青少年育成基金を設けました。同基金は、各

松ライオンズ(山本武富会長、七十人)が結成十周年を記念して、「青少年の健全育成のために使ってほしい」と寄付した四百万円を基に、市が百万円を加えて基金五百万円を積み立てて創設しました。同基金の運用については、近く関係者による運営協議会を設けるなどして、有効に運用していくことにしており、愛のパトロール車や啓発映画フィルム、映写機などの購入などが計画されています。



障害児も仲間に入り楽しい保育が行われている
(城北保育所)

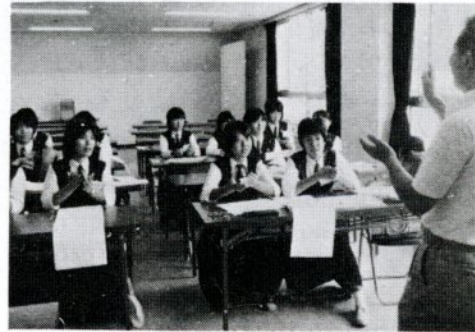
3 保育所で障害児保育

高校生が手話など学ぶ

初のボランティア講座

ボランティア活動の基礎を若い世代に身に付けてもらおう、と市社会福祉協議会などが九月二十八日、初の高校生のためのボランティア講座を開きました。

参加したのは五十人（男子は一人）で、まず、富士俊一・鳥取大農学部教授が「高校生活とボランティア活動」について講演、ボランティア精神は自発性、奉仕性、無償性の三点にある。地域の人に仲間意識をもってもらうようにするところに、ボランティアの役割がある、など、ボランティア活動の要点について話しました。午後からは、点字、朗読、手話の三グル



手話実習をする高校生たち（福祉文化会館）

んで、点字板や点字本を見せて、点訳の基礎を講義。朗読では、同じ桑の実会の錦織致子さんと多久三千恵さんが指導に当たり、腹式呼吸、活舌練習、単文朗読などを実習。手話グループでは、小林文一・県立積善学園指導員が自己紹介、数字など簡単な指文字を教えました。

婦人39人が参加

老人介護講習会

市社会福祉協議会は、去年に続いて二回目の老人介護講習会を開催、婦人三十九人が寝たきり老人の動かし方などを熱心に勉強しました。



寝たきり老人の体の動かし方を学ぶ受講生たち（福祉文化会館）

市立病院副看護部長。初日は、老人の健康づくり対策とかかりやすい病気の講義と血圧計の使い方実習を受け、二日目は、応急手当の方法と寝たきり老人の床ずれを防ぐための体の動かし方や清拭の方法を学びました。最終日には、寝たきり老人の運動方法をイラストで勉強した後、スライドで総まとめの講義を受けました。

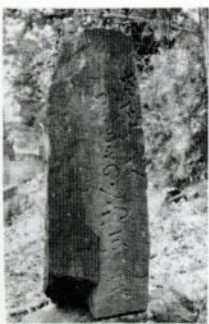
さびしさもかはるものも也初しぐれ

玉木屋越山

風々曲三世を継いだ越山は玉木屋平六（環屋平録）と言ひ、掛出町の住人、家業は酒屋で文化九年（一八一五）十月二日の建立だが、享年は不明。二世風々曲雷師が文政四年（一八二一）まで生存したのにその七年も前に没しており、俳風世代の継承が必ずしも先代の死を必要としなかったこと、ならびに越山の力量の程が知られる。この事情からも高年齢でなかったと思われる。（広富竹春「鳥取文化五百年史」、荻原直正「鳥取俳人史」による）

石碑散歩

二 七月、中町から出火して市中八割を焼失したといういわゆる文化の大火「佐橋火事」で類焼の際、タゴの水で土蔵



村尾 草樹

2千万円を突破

ジン臓等難病基金

五十二年九月に設けた市ジン臓疾患等難病対策基金に九月二十九日、新たに百万円の寄付があり、三年ぶりに目標の二千万円を突破しました。

この基金は、通院費などで出費がかさむジン臓病患者の生活を少しでも手助けしよう、と設けたも

のです。五十二年七月、永年、ジン臓を患っていた母を亡くした若桜町、薬局経営宮本輝彦さん（弔）が、「母が苦しんでいたジン臓病のみなさんのために使つてほしい」と、市に百万円を寄付したのがきっかけで、市の出資百万円を加えて基金二百万円を積み立てて創設しました。市は、五十三年度から本年度まで各二百万円を積み立てたほか、民間の寄付金が今回の百万円を加えて一千三百万円余りとなり、基金総額は二千二十万円で二千万円を増額しています。



面影と末恒が優勝

八月三十一日の水泳競技で開幕した第二十三回市民体育祭には、最終日の十月十日の陸上競技Ⅱ写真Ⅱまで、延べ五千六百人の市民が参加、十五種目で熱戦を繰り広げ、面影、末恒両地区が総合優勝を飾りました。

同体育祭は小学校区対抗（美和小校区は美穂と大和の二地区に分ける）で、二十六地区をA、B二グループに分けて行われました。最終日の十月十日（体育の日）には、布勢のサブグラウンドでメーソンの陸上競技が行われ、市民およそ一千二百人が参加して、さわやかな汗を流していました。百斤競走、走り幅跳び、砲丸投げなどの得点種目のほか、宝さがし、風船運び、二人三脚など、チビっ子からお年寄りまで、だれでも気軽に

参加できる種目もあり、楽しい市民体育祭として盛り上がりを見せていました。

体育祭成績は、Aグループで、面影地区が通算三回目（Aグループでは初）の総合優勝を飾り、Bグループでは末恒地区が初の総合優勝を勝ち取りました。総合順位と種目別優勝チームは次の通り。

【総合順位】（数字は順位）

〔Aグループ〕①面影②湖山③

賀露④稲葉山⑤久松⑥美保⑦城北

⑧富桑⑨遷喬⑩修立⑪醇風⑫明徳

⑬日進

〔Bグループ〕①末恒②湖南③

倉田④大正⑤世紀⑥津ノ井⑦美穂

⑧浜坂⑨大和⑩東郷⑪米里⑫神戸

⑬明徳

【種目別優勝チーム】

水泳ⅡA賀露B倉田▽男子バレー

ⅠボールⅡA湖山B世紀▽婦人バレーⅢボールⅣA修立B末恒▽軟式庭球ⅤA面影B末恒▽相撲ⅥA稲葉山B湖南▽柔道ⅦA稲葉山B津ノ井▽剣道ⅧA久松B美穂▽弓道ⅨA城北B湖南▽軟式野球ⅩA面影B津ノ井▽ソフトボールⅪA湖山B浜坂▽バスケットボールⅫA湖山B末恒▽バドミントンⅬA面影B末恒▽軟式卓球ⅭA稲葉山B浜坂▽市内駅伝ⅮA湖山B米里▽陸上ⅰA面影B末恒

119番窓口を一本化

東部広域消防

県東部広域行政管理組合消防局に消防救急指令装置が完成、十月一日から運用を始めました。この装置は、行徳にある消防局

内の通信指令室に設置した救急指令台と消防局をはじめ広域圏内の五消防署、六出張所、一分遣所に設置した端末機器、消防無線装置で構成されています。この装置により、火災、救急通報の一九番を通信指令室が一括して受け付け、各消防署、出張所などへ出動指令を行い、消防、救急活動を効率的に行うものです。これまでは、一九番通報は通信指令室と八頭、岩美、気高三消防署が個別に受けて、出動区分により各消防署、出張所、分遣所に出動を指令していました。

県東部広域の常備消防体制は、五十三年五月一日に発足、去年十月一日からは全消防署、出張所、分遣所が完成して本格的な活動を開始しています。

市政短信

老人スポーツ大会で 600人が楽しむ お年寄りにスポーツを楽しんでもらい、親ばくも深めてもらおう、と3回目の市老人スポーツ



大会を10月7日、市民体育館で開きました。参加したのは60歳以上のお年寄り

600人で、最高齢者は85歳の大杢、田中実さん。選手宣誓は吉方町1丁目、森本直蔵さん(72)。輪投げ競走、ラケットレース、魚釣り、ボーリングの個人4種目には、ほとんどの選手が出場、11ブロックに分かれた団体戦では、ボール送り、玉入れで熱戦が繰り広げられました。優勝は第1ブロック(修立)でした。

稲葉山小花壇が最優秀に 市と市緑花協会は6回目の市花いっぱい花壇コンクールを9月22日に実施、参加11団体の花壇について花の総合美、手入れ、構造の3点で審査しました。最優秀賞には稲葉山小花壇が、優秀賞に津ノ井保育所、城北保育所、附属小、湖東中の各花壇が、奨励賞に松保保育所、美保保育所、世紀小、津ノ井小、神坂老人クラブ、浜坂団地町内会の各花壇がそれぞれ選ばれました。

砂丘一斉清掃に1200人 ゴミのない砂丘を実現しよう、とこの4月に続いて10月12日、秋の砂丘一斉清掃を実施しました。本市と福



部村の23団体 900人と個人参加や観光客 300人の計1200人が大掛かりなクリーン作戦を繰り広げました。午前10時からおよそ1時間30分、西は砂丘こどもの国から東は一つ山付近までの砂丘で、空きカン1368袋、空きビン305袋、ビニール袋 569袋、残飯、紙くず類 854袋など計3160袋、15tのゴミを集めました。

交通安全運動で自転車街頭点検 秋の全国交通安全運動(9月21日~30日)期間中の26日、県自転車軽自動車商協同組合鳥取支部会員10人をはじめ、市交通安全指導員、鳥取警察署員ら17人が、若桜、智頭両橋北詰めで自転車安全利用のための街頭点検を実施しました。午後3時から1時間、303台の自転車についてブレーキ、ライト、ベルなどをチェック、全部で 371カ所の整備不良箇所を発見して整備するよう指導しました。

同和問題 シリーズ

▷ 42



高等学校での同和教育

上

施されるようになりました。十一、十二月号では、①学級担任による指導（ロングホームルーム）②生徒宿泊研修会③生徒同和問題研究部の活動④PTAにおける同和教育——の四点について、高校同和教育の実態を紹介します。執筆は森田義人（家政高）、有田司（東高）、坂口利彦（西工高）、林田純一（農高）の四先生です。

実践力養成をめざす

ロングホームルーム

最初に家族との話し合いについて、生徒二人が書いた作文を紹介します。

あると思う。
【作文二】中学のときからずっと家と話し合いをやっているが、一向に親と話が合わない。学校から持って帰ったプリントなどを見せたり、同和の時間にあったことなどを話すと、「そんな話はするな」と言っただけで怒る。だからすぐけんかになってしまう。父が言い勝ち、私がふくれるという結果は同じである。「学校から家庭で同和問題について話してくれるように」と言われたで！」と話すと、「絶対」といいいい程、同和問題はなくならないだろう」と答えた。

【作文一】私は中学三年生のとき、親友に「私は同和地区出身だが……」と言われたが、別に何とも思わず付き合ってきた。でも結婚問題になると私もわからない。そのことについて両親に聞くと、「絶対だめだ」と言う。私は知らないでいたら差別はなかったのではないか、むしろ同和教育はない方がいいではないかと思う。例えば、「同和地区に住むとしたらどうか」と言われたら、「いやだ」という気持ちがあるだろう。私は、部落差別はいまだに厳しいものが

不安を持っており、後者にしても、同和問題について家庭の中で話し合うことの難しさを述べています。親の差別意識に汚染されないで、むしろ学校同和教育を確かなものとし、子供が親を変えていくことを目指しており、これらを教材として、ロングホームルームで実践しています。

同和教育の年間指導計画は、年度当初、担当教師で主題、内容、資料などについて原案を作成し、これをクラス代表の生徒と協議して決定します。取り組みは、学年、学級の特徴を生かして多少は異なりますが、三年生では映画を鑑賞し、感想文を書かせたり、意識調

生徒自ら企画、運営

宿泊研修会

などを実施して生徒の意識をつかみ、学習の資料にしています。意識調査によりまずと、同和对策事業は当然必要である、と理解している生徒は四六八で、知識として理解できている生徒もこれくらいで、「もういい」と考えている生徒もかなりあり、同和教育を進める上で大きな課題だと思っています。その他、「同和教育と私たちの生き方」「正しい人間関係」「同和問題解決の方向」「解放への実践と展望」「同和問題と進路保障」など、三か年の学習のまとめとして、同和問題を自らの課題として差別を許さない強い意志と連帯により同和問題を解決し、民主社会をつくる実践力を養うことを目指しています。

とも相まって今では生徒自らの手によって企画、運営されています。研修の内容は、他校部落問題研究部との交流会をはじめとし、実際に差別に直面し解放に向けて意欲的に立ち上がった社会人の方の体験に基づいた講演会や映画会などです。同じかまの飯を食べ、夜には打ち解けた状態のもとで、お互いに悩みを打ち明け、「このような悩みは自分だけではなかった」「ここにも、このような友達が……」と話さうにもなっています。解放への力量に多少の差はあっても、共通の悩みを通して連帯感も育ち、自信と意欲、さらには将来への明るい展望を抱く若者へと成長しつつあります。

同和教育にカリキュラムはありません。研修を積み重ねながらの創造と実践があるだけです。いくらか格調の高い論理が展開されても創造と実践がない限り進歩はありません。実践ができるということ、個人個人が自己変革をし、その輪を広げていくことです。

地区生徒を中心に宿泊研修会を開いています。この研修会は、とかく沈みがちな同和問題研究活動を推進する意図から、本校研修館を利用して実施しており、ことしで四年目を迎えました。当初は学校が企画したものでしたが、中学校の同和教育も進み、また、各同和地区の高校友の会が成長したこと

このように、宿泊研修会は参加者一人一人が自己変革をし、さらにその輪を広げていき、厚い心理的差別的壁を打ち破って力強く前進する人間に育つであろうと確信しています。

東高教諭 有田 司

長柄川にホタルの幼虫

3回目、1200匹を放流

湖南地区を「ホタルの里」にして美しい自然を守ろう、と同地区ホタル愛護運動推進委員会(岡松孝会長)は、ことしもゲンジボタルの幼虫一千二百匹を長柄川に放流しました。写真。

同委員会がホタルの幼虫放流を始めたのは五十三年十月で、今回で三回目。



幼虫は、浜坂の全国はたる研究会事務局長、村上美佐男さん(六六)の

指導により、つづらを荘内のホタル飼育施設で育成されたものです。来年六月初めごろ、成虫になったホタルが飛びかい、同月中旬から下旬にかけてが最盛期となり、七月初めまでホタルを楽しむことができます。

ホタルは古くから初夏の風物詩として、人々に愛され親しまれてきました。なかでも、光の強いゲンジボタルは、日本にだけ生息し、幼虫時代を水中で過ごすことで、学術上、貴重だとされています。



幼虫時代を水中で過ごすことで、学術上、貴重だとされています。

和風電話ボックス

久松公園に登場

鳥取電報電話局はこのほど、久松公園内に特製の和風電話ボックス



金子助役(右)らがテブカット

現在、ボランティア活動をしているグループは二十余りあります。これらのグループをこの「われらボランティア」で紹介します。

例会で点訳(上)と朗読(左)の研究をする桑の実会会員

桑の実会

43年から点訳と朗読

桑の実会の結成は四十三年二月。前年の十一月から三カ月間開かれた点訳講習会に参加した人たち四十五人が「点訳奉仕をやる」とつくったグループです。四十七年からは朗読も加え、地道な活動を続けています。

桑の実会の結成は四十三年二月。前年の十一月から三カ月間開かれた点訳講習会に参加した人たち四十五人が「点訳奉仕をやる」とつくったグループです。四十七年からは朗読も加え、地道な活動を続けています。

朗読の部の代表者は浜坂、足立淑子さん(四四)。カセット式テープレコーダーの普及とともに、朗読への要望は年々多くなっています。季刊誌の「暮しの手帳」のほか、小説を中心に朗読しており、これまでに百四十冊分、九十分テープで四百四十巻を吹き込んでいます。足立さんは「半年も練習すれば、ちゃんと朗読できます」と話していました。入会は、市社会福祉協議会(24-3180)へ。

われらボランティア

1

ラジオ体操祭に400人

二の丸会の受彰を記念

二の丸会(上田博愛会長)が本年度のラジオ体操優良団体として地方表彰を受けたのを記念して、十月五日午前九時から、鳥取城跡二の丸で一万人ラジオ体操祭地方大会が開かれました。二の丸会の会員ら市民およそ四百人が参加、田中稔・県ラジオ体操連盟副会長の指導で、心地よい汗を流しました。

二の丸会は、毎朝六時三十分、二の丸に集まり、ラジオ体操をしているグループで、体のなまるのを防ぐ」と、十年ほど前、四、五人で始めたものです。会の正式発足は五十一年四月で、現在の登録会員は百人余りで、未登録の参加者を加えると二百人近くにもなっています。

スを設置、十月二十一日に関係者およそ三十人が参加して、設置記念式を行い、テブカットで電話ボックス設置を祝いました。

この電話ボックスは、鳥取県電信創業百年の記念行事の一つとして設置されたもので、国の史跡である鳥取城跡にふさわしいものとなっています。普通型ボックスと同じ大きさで、色はこげ茶、屋根は切妻型のものです。

募集

単身者と2人世帯を対象

市営住宅の補充入居者募集

単身者と2人世帯を対象に市営住宅の補充入居者を募集します。入居を希望する人は建築課住宅係に備え付けの用紙(11月4日から交付)に必要事項を記入して、11月5日(水)～12日(水)に申し込んでください。

【入居資格】市内に住んでいるか勤務しており、常時介護を必要としない人で、次のどれかに該当する人。①男60歳以上、女50歳以上②身体障害者福祉法施行規則別表第5号の1級～4級の人の③戦傷病者特別援護法による身体上の障害の程度が、恩給法別表第1号表ノ2の特別項症～第6項症か、同表ノ3の第1款症の人④原子爆弾被爆者の医療等に関する法律第8条第1項の人⑤生活保護法第6条第1項に規定する被保護者⑥海外から日本に引き揚げてから5年を経過していない人。

【収入基準】単身の場合で年収116万円以下、2人世帯で同157万1999円以下。

【募集住宅】賀露1戸、湖山(湖山町北3丁目)12戸。家賃は月額5000円～6200円。

秋のオリエンテーリング大会

秋のオリエンテーリング(O.L)大会を次の日程で開きます。会場は久松山O.Lコース。

とき 11月23日(日)午前10時出発
クラス別 男子、女子、家族の3クラス。
1パーティは3～5人で構成のこと。

申し込み 11月20日(木)までに市教委体育課体育係へ。参加料は不要。

歩こう会

歩こう会の11月例会は次の通りで、目的地は稲葉山。昼食と水筒は持って行ってください。だれでも参加できます。…が歩行区間。

【とき】11月9日(日)【コース】集合・午前8時15分に市役所前→出発・同8時30分…立川…滝山…稲葉山…宮ノ下→鳥取駅(午後4時ごろ)【交通費は120円】

55年度
市民文化祭
日程②

- 55年度市民文化祭の11月の日程を紹介します。カッコ内は会場。
〈有〉は有料です。
3日まで 鳥取華道連合会・華道展(福祉文化会館) 〈有〉
8日まで 鳥取秋芳会・菊花展(久松公園) 〈有〉
2日 鳥取観世流連合会、鳥取宝生会、喜多流鳥取連合会の謡曲仕舞(文化ホール)
5日 鳥取俳人懇話会・俳句大会(福祉文化会館)
8～10日 鳥取凡才会・盆栽展(同)
8～10日 鳥取樹嶺会・盆栽展(同)
9～15日 鳥取美術家集団・作品展(画廊鳥取美術)
12日 一音会・演奏会(文化ホール)〈有〉

1日に市民集会

テーマは「鳥取市の文化を考える」

本年度4回目の市民集会を次の日程で開きます。テーマを設定してディスカッション方式で討論、広く市民の意見、要望を聴き、これを市政に反映させようというものです。

とき 11月1日(土)午後1時30分～4時
ところ 市文化ホール(吉方温泉3丁目)
テーマ 鳥取市の文化を考える

市民自治学園

「市民自治学園」の11月の講座日程は次の通りです。受講申し込みをしない人でも自由に受講できますので、気軽においでください。いずれも、時間は午前9時30分～11時40分、会場は福祉文化会館5階第3会議室。

【鳥取市の文化財】11月5日(水)、大谷博・県教委文化課文化財主査

【エネルギー問題と省エネ対策】11月19日(水)、露木幸雄・中国電力(株)鳥取営業所営業課主任

毎月第3日曜日

市民総スポーツの日

県民手帳の予約受け付け

式手帳「56年版・県民手帳」には各種統計資料と日常生活に役立つ記事が掲載されています。購入希望の人は11月29日までに市役所3階企画室内の市統計協会へ。1冊270円。

〈危険物取扱者試験の準備講習会〉11月28日(金)に実施される危険物取扱者試験の準備講習会を次の通り開きます。

講習会＝乙種第4類は11月17日(月)～20日(木)、丙種は11月21日(金)22日(土)▷補習日(乙種のみ)＝11月25日(火)▷場所＝東部広域消防局(行徳)▷申し込み＝11月10日(月)までに市危険物保安協会事務局(消防局内、☎23-2301)へ。

- 14～18日 鳥取書道連盟・書道展(福祉文化会館)
15～17日 情脈短歌会・作品展(同)
16～22日 鳥取書道連盟・書道展(県立博物館)
22日 鳥取女声合唱団・演奏会(市民会館) 〈有〉
22日 鳥取大ギターアンサンブル・演奏会(文化ホール) 〈有〉
22、23日 鳥取蘭万同好会・洋ラン展(福祉文化会館)
22～27日 集団フォトとっとり・写真展(同)
23日 鳥取大マンドリンクラブ・演奏会(市民会館) 〈有〉
24日 鳥取大フィルハーモニー・演奏会(同) 〈有〉
29日 鳥取市民合唱団・演奏会(同) 〈有〉
29日 鳥取大演劇部・発表会(文化ホール) 〈有〉

ご存じですか

中小企業倒産防止共済制度
小規模企業共済制度

「中小企業倒産防止共済制度」は、連鎖倒産を未然に防ぐために、中小企業者のみなさんがあらかじめ掛金を積み立てて、共済金の貸し付けにより相互に救済しよう、と国でつくられた制度です。

加入後6カ月以上たつて、万一取引先が倒産し、売掛金債権などの回収が困難となった場合、掛金総額の10倍の範囲内で無利子、無担保、無保証人で共済金の貸し付けが受けられます。

「小規模企業共済制度」は国でつくられた事業主の退職金制度です。事業主が第一線を退いたときなどに、法律で定められた共済金が支払われるものです。

掛金は全額所得控除となり、節税をしながら財産づくりの役に立ちます。

両制度とも、詳しくは鳥取商工会議所(本町3丁目、☎26-6666)か県中小企業団体中央会(富安2丁目、☎26-6671)へ。

●附属幼稚園児の募集● 鳥取大学教育学部附属幼稚園(湖山町北2丁目、☎28-0010)が56年度園児を募集。3年保育年少組(3歳)20人、3年保育年中組(4歳)20人、2年保育年少組(同)35人の計75人。願書は11月11日(火)午後3時から説明会場で配布。受け付けは11月12日(水)から14日(金)の午後3時まで。

●国民金融公庫の年末資金融資● 国民金融公庫は中小企業者への年末事業資金の利用申し込みを受け付けています。利用できるのは、資本金1000万円以内、従業員100人以内の法人か個人。ことしは冷夏による被害もあり、申し込みが例年に比べて増える見込みです。早めに手続きをしてください。申し込みは、同公庫鳥取支店(永楽温泉町、☎22-3156)か鳥取商工会議所(本町3丁目、☎26-6666)へ。

●省エネ切手のデザイン募集● 財団法人省エネルギーセンターが来年8月発行予定の省エネ切手のデザインを募集しています。締め切りは11月30日(当日消印有効)。だれでも応募できます。作品送付先は、〒105、東京都港区西新橋2-39-3、SVAX西新橋ビル、財団法人省エネルギーセンター「切手デザインコンクール」係。応募規程など詳しくは鳥取郵便局郵便課(☎22-3456)へ問い合わせてください。

展覧会 ～11月～

○公納久光油絵展/1～3日/美巧ギャラリー○寺坂正信洋画展/1～6日/画廊鳥取美術○谷上峰子・ペンと鉛筆による小品展/3～9日/万年筆博士2階ギャラリー○世界と日本の巨匠版画展/6～18日/鳥取大丸3階美術画廊○鳥取クラフト新作展/11～17日/万年筆博士○絵本風土記鳥取県版展/17～21日/鳥取美術○飯尾豪史展/20～25日/大丸画廊○因久山焼・八代親作陶展/22～25日/美巧○高田月夫陶芸展/23～28日/鳥取美術○上田直方作陶展/26～28日/大丸画廊

三種混合予防接種

ジフテリア・百日ぜき・破傷風

三種混合予防接種（ジフテリア、百日ぜき、破傷風）の第1期（3回接種）の3回目接種を次の日程で行います。対象児のある家庭は必ず受けさせてください。母子手帳は予診票に記入して持ってきてください。（無料）

受ける人＝昭和52年9月1日～53年8月31日に生まれた幼児と、それ以前の出生児でまだ接種を受けていない4歳未満の乳幼児。

時間＝倉田、湖南、浜坂、神戸、美和の5校区は午後1時30分～2時30分。他の校区と全市補足日は午後1時30分～3時。

校 区	接 種 場 所	接 種 日
湖 山	湖山地区公民館	11月4日(火)
明德、久松、修立	福祉文化会館	11月5日(水)
倉 田	倉田地区公民館	11月6日(木)
美 保	美保地区公民館	
湖 南	湖南地区公民館分室	11月7日(金)
浜 坂	浜坂地区公民館	
稲葉山、日進、遷鶴	福祉文化会館	11月10日(月)
世紀、明治	世紀小学校	11月11日(火)
神戸、美和	美和小学校	
補 足	福祉文化会館	12月2日(火) 12月25日(木)

育児相談

生後1～12カ月の乳幼児を対象に育児相談を行います。毎月第4金曜日の午前9時30分～午後3時30分に、市民健康センター内母子相談コーナー（福祉文化会館2階）で実施。11月は28日です。乳幼児の健康、しつけなどのほか、家族計画についても市の保健婦が指導。（無料）

給食費など一部助成

＝小、中学生就学援助制度＝

市教委は「就学援助制度」を設けています。収入が少なく教育費に困っている小、中学校の児童、生徒の保護者のみなさんに対して学用品・通学用品・新入学用品の購入代金、修学旅行費、校外活動費、給食費などの一部を援助しています。

就学援助を希望する人は、地区の民生委員か、学校長（先生）と相談のうえ、12月10日ごろまでに必要な手続きをしてください。

詳しくは市教委学校教育課学務係へ。

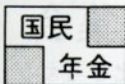
水道

工事申請は早めに

水道の新設、改造、増設などの工事は、水道局の許可がないと施行できません。工事をする場合は、水道局公認業者へ申し込んでください。

特に、新設工事では道路掘削の許可に相当の日数を要します。新住居が完成しても希望する日に水道を使えないことがありますので、公認業者と十分相談してください。また、年末は道路の掘削ができませんので、早めに申し込んでください。

詳しくは、水道局（☎23-1601）へ。



20日に相談会

今月は普及推進月間

11月は国民年金普及推進月間です。わが国の年金制度は、だれもがどれかの年金を受けられる「国民皆年金」のしくみがとられています。このうち国民年金制度の加入者が最も多く、本市では2万3000人（4月1日現在）が加入、市民5.6人に1人の割合で加入していることになります。そして、年金受給者は1万1900人にもなっています。

国民年金制度は農林漁業、商工業、サービス業などの自営業者、従業員5人未満の事業所に雇われている人とそれらの家族のための

相 談

11、12月の法律相談

弁護士による法律相談を行っています。相続、遺産、土地の売買や登記、家族問題などで困っている人は利用してください。（無料）

【市政担当】相談時間は午後1時～4時。相談場所は市民相談室（市役所1階）。申し込みは市政室市民生活班へ。

相談日 11月17日（月）
12月15日（月）

【市社会福祉協議会担当】相談時間は午前10時～午後3時。相談場所は市社協協内の心配ごと相談所（福祉文化会館1階）。申し込みは市社協協（☎24-3180）へ。

相談日 11月17日（月）
12月15日（月）

人権困りごと相談

市人権擁護委員と法務局相談担当職員による「人権困りごと相談」を行います。騒音、震動、悪臭などの公害や、家庭のめんど、不当な差別、土地、建物の売買に関するトラブルなど、人権にかかわる困りごとのある人は、気軽に相談してください。（無料）

相談日 11月20日（木）午後1時～4時
ところ 県社会教育福祉会館2階（扇町）

26、27日 調停相談会

鳥取地区調停協会が調停相談会を開きます。自動車事故などによる損害賠償、金銭の貸借、土地、建物、家庭問題などで困っている人は気軽に相談してください。（無料）

相談日 11月26日（水）27日（木）

時 間 午前10時～午後3時

場 所 市役所5階議員控室

例年、12月に入ると市民課の窓口が混雑してきます。戸籍の謄・抄本、住民票写し、印鑑登録証明書など利用がわかっているものについては、早めに請求してください。なお、戸籍関係書類の請求には必ず本籍（地番まで）、筆頭者氏名を確認してください。

もので、満20歳から60歳までの間は加入しなければなりません。また、サラリーマンの奥さんなどは、希望すれば加入できます。

国民年金の年金給付には、老齢年金、通算老齢年金、障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金の7種類があります。これらの年金額は、物価の変動に応じてスライド改正するしくみになっていますので、将来、目減りすることはありません。

保険料は1カ月3770円です。保険料を支払うことが困難な人には、必ず加入しなければならない人に限り、保険料免除制度もあります。詳しくは保険年金課年金係へ。

なお、年金相談所を11月20日（木）午前10時～午後3時、市役所玄関ホールで開きます。

住民税を減免

冷夏で減った農業所得に

本年の農作物は冷夏によりかなりの減収が見込まれますので、55年度分住民税の所得割額のうち農業所得に対する税額を軽減または免除します。次の要件に該当する人は、12月1日（月）までに減免申請書を市民税課市民税係へ提出してください。

①農作物の減収損失額の合計額（農業災害補償法による支払い共済金額がある場合は減収価額からこの金額を控除した額）が、平年作の農作物の収入金額の合計額の30%以上であること②54年中の所得の合計額が400万円以下で、農業所得以外の所得金額が160万円以下であること。



〈源泉所得税年末調整と給与支払い報告書提出事務説明会〉 11月13日（木）14日（金）21日（金）25日（火）26日（水）の5日間、それぞれ午前（9時～正午）と午後（1時～4時）の2回に分けて、源泉所得税年末調整と給与支払い報告書提出事務の両説明会を開きます。場所は13日が鳥取税務署、他の4日間は県庁講堂です。なお、個人の青色申告のみなさんには、12月の決算説明会で同時に説明します。

11日～17日

税を知る週間

税金は社会共通の経費です。税金についてのわかりやすいパンフレットなどを市役所玄関ホール、鳥取税務署、東部県税事務所（県庁第2庁舎）に用意しています。利用してください。

A black and white line drawing of a doctor in a white coat examining a patient's teeth. The patient is sitting in a dental chair, and the doctor is standing behind the chair, looking into the patient's mouth. The patient has a large, prominent nose.

(無料)

休日救急医療担当病院

第3日曜日 **家庭の日**

新入学児童
健康診断



(美和、大正両小学校は10月に実施済み)

火事の多いシーズンです。消火器を取扱いておぼえておきましょう。

日ごろが大事

ガン検診

成人病検診

12月の実施日は12日(金)午後1時～3時です。受診申し込みは厚生課保健衛生係で受け付けています。なお、血圧、尿、血液比重、肥満度などの検査は、いつでも同センターで行っています。

(無料)

健康①

・インフルエンザ予防接種・

インフルエンザ予防接種を次の日程で行います。対象校区の会場で接種を受けられなかった人は、他の会場で受けてください。

対象者＝3歳以上の市民（保育所、幼稚園、小、中、高校の児童、生徒にはそれぞれの施設で実施）



時間＝浜坂、大正、末恒、東郷、賀露、豊実、湖南、倉田、明治、神戸の10校区が午後1時30分～2時30分、米里校区が2時～3時。他の校区は1時30分～3時。

料金＝3歳～中学生は無料。高校生、大人は1人1回400円。ただし、生活保護世帯、市民税が非課税または均等割額世帯の人、65歳以上の人（大正4年以前に生まれた人）は無料になりますので、証明できるものか市民税納入通知書を持参してください。

接種方法＝4週間の間隔で2回注射。

受けてはいけない人＝熱があったり病気にかかっている人、心臓、肝臓、じん臓に異状のある人、妊娠婦、病後の衰弱者、そのほか医師が接種を不適当と認めた人。特に鶏卵に対する特異体質の人は接種厳禁です。

校 区	接種場所	接 種 日	
		第1回	第2回
醇 風	醇 風 小 学 校	実 施 済 み	11月19日 (水)
富 桑	富 桑 会 館		11月20日 (木)
日 進	福祉文化会館		11月21日 (金)
城 北	城北地区公民館		11月25日 (火)
明 徳	生活センター4階会議室		11月28日 (金)
修 立	修 立 小 学 校	津ノ井	11月4日 (火)
湖 山	湖山地区公民館		12月2日 (火)
浜 坂	浜坂地区公民館	11月12日 (水)	12月10日 (水)
美 保	美保地区公民館	11月13日 (木)	12月11日 (木)
津ノ井	津ノ井地区公民館	11月14日 (金)	12月12日 (金)
大 正	大正地区公民館	11月17日 (月)	12月15日 (月)
末 恒	末恒地区公民館	11月18日 (火)	12月16日 (火)
東 郷	東郷地区公民館	11月25日 (火)	12月23日 (火)
賀 露	賀露地区公民館	11月27日 (木)	12月26日 (金)
松 保	松保地区公民館		
豊 実	豊実地区公民館		
湖 南	湖南地区公民館分室		
倉 田	倉 田 小 学 校		
明 治	明治地区公民館		
稲 葉 山	立川町5丁目公民館		
神 戸	神戸地区公民館		
面 影	面影地区公民館		
米 里	米 里 小 学 校		
美 和	美 和 小 学 校		
久 松	福祉文化会館		
遷 喬	福祉文化会館		
補 足	福祉文化会館		

休日在宅当番医

11月と12月初めの休日在宅当番医は次の通りです。診療時間は午後6時～9時。

と き	病 院 名	と こ ろ	で ん わ
11月2日	吉 田 医 院	瓦町	22-2434
	福 羅 医 院	秋里	24-3738
11月3日	小 松 内 科	今町1丁目	22-4549
	谷口外科クリニック	片原5丁目	24-5252
11月9日	小田小児科医院	西町3丁目	23-3168
	本庄整形外科医院	西品治	24-3031
11月16日	坂 本 医 院	元町	22-6612
	山 藤 医 院	大榎町	22-8431
11月23日	馬 淵 医 院	材木町	22-5693
	面谷外科医院	吉方温泉4丁目	23-6266
11月24日	小 松 医 院	今町1丁目	22-5896
	石河内科医院	元魚町1丁目	23-3618
11月30日	大 家 医 院	吉方町2丁目	22-7633
	藤山内科医院	西品治	23-3527
12月7日	井 崎 医 院	吉方温泉1丁目	22-2590
	福田内科医院	瓦町	23-0888

催しもの

〔市民会館〕 ☎24-9411

- 1日 NKT映画会「水野晴郎とともに、
「うず潮」 (整理券)
- 2日 親と子の名作映画会 (有)
- 8日 モダンダンス・アビール展 (有)
- 14日 鳥取演劇振興センター主催、劇団
青年座「ブナよ、木からおりて
こい」 (有)
- 15、16日 映画会「太陽の子」 (有)
- 17日 甲斐バンドコンサート (有)
- 20日 中島みゆきコンサート (有)
- 28日 大誓文払いアトラクション
(整理券)
- ※日 マックス・マルチシユタインピ
アノリサイタル (有)
- ※日 クリスタルキングコンサート (有)
- ※日 県演劇連盟東部地区公演 (鳥取市
民劇場、鳥取演劇集団) (有)

〔文化ホール〕 ☎27-5181

- 1日 市民集会「鳥取市の文化を考える」
- 6日 市老人芸能大会
- 8日 市民寄席 (三遊亭圓楽、早野凡平、
佐々木つとむら) (有)
- 9日 安井俊恵・松浦ふさ代・北村玲子
ジョイントリサイタル (ピアノと
チェロによる演奏会) (有)
- 15日 鳥取名画鑑賞会例会、1936年フラ
ンス映画「望郷」 (有)
- 16日 鳥取大音楽教室ピアノ発表会
- 23日 子供の映画会 (有)

〔福祉文化会館〕 ☎24-6766

- 5日 市民自治学園 (鳥取市の文化財＝
大谷博・県教委文化課文化財主査)
- 9～13日 市尚徳大学菊花展
- 15～18日 市小学校作品展 (図画、習字)
- 26～28日 県身障者作品展示会
- ※～※日 川上すな・手まりの個展
- ※～※日 第7回市民館祭

木のまつり

- 3日午前11時～午後4時
 - 若桜街道、本通り
- 《苗木プレゼント》午後3時から、ロブス文化会館前と鳥銀本店前の2カ所でキンモクセイなどを2000人にプレゼント。雨天でまつり中止の場合は午前9時から市役所玄関前で。

市民健康相談

11月は次の日程で乳幼児(生後1～18カ月)と成人を対象に健康相談を行います。近くの会場で受けてください。担当は市の保健婦。

【古海、下味野】7日(金)午前10時～午後3時、各隣保館で【国安】7日午前10時～正午、児童館で【馬場】7日午後1時～3時、児童館で【西品治】14日(金)午前10時～午後3時(乳児検診は午後1時～3時)、隣保館で。

〔市民体育館〕 ☎24-5222

- 1、2日 県総合バスケットボール大会
- 9日 県高校インドア軟式庭球東部予選
- 16日 市小体連バレーボール大会
- 22～24日 近県硬式卓球大会
- 30日 東部地区秋季バドミントン大会

〔県立博物館〕 ☎26-8042

- 3日 まで チャーチル会鳥取展
- 9日 特別展「関西洋画名作展」(有)
- 5～9日 日本伝統工芸中国地方展
- 20～24日 鳥取デザイナー協会展

〔県社会教育福祉会館〕 ☎27-5252

- 2日 アコヤ・ピアノ発表会
- 8日 映画「マザーテレサとその世界」
と現地(インド)報告の会(有)
- 9日 鳥取明吟会・吟剣詩舞大会
- 23日 絃声会・民謡発表会
- 24日 鳥取大落語研究会公演 (有)
- 29日 社会教育講習会「日本人とおしゃべり」＝NHK文化研究会・稲垣文男氏

～(有)は有料です～

〈注〉「市民文化祭」参加の催しは、13日の文化祭日程欄に掲載しています。

●尚徳大学菊花展 ● 11月9日(日)～13日(木)、福祉文化会館4階で。250点展示。

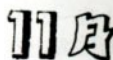
●第7回公民館祭 ● 12月5日(金)～8日(日)、福祉文化会館3、4、5階で。公民館活動の1年間の成果を作品、写真などで展示。

8日④

市民寄席

文化ホールで

の松旭斉美智・幸子ら。
と き 11月8日(土)午後2時、6時開演
ところ 市文化ホール(吉方温泉3丁目)
入場料 A席1200円、B席1000円。入場券は市教委、文化ホール、各レコード店で発売。



国保料と下水道受益者負担金の第3期の支払い月です